

活動後、速やかに（活動後2週間程度を目途）**教学課へ報告書を提出してください。**

記入例

ボランティア活動実施報告書

令和 6年 8月 26日

県立広島大学長 様

学部学科（専攻）もしくは団体名：

地域創生学部 地域創生学科

氏名もしくは代表者氏名：

県立 県立
県立 花子

県立

県立広島大学ボランティア活動助成制度に申請し、次のとおり活動したので報告します。

1. 活動概要

区分	<input type="checkbox"/> 学生団体企画型ボランティア活動助成（ボランティア活動助成A） <input checked="" type="checkbox"/> 学生ボランティア活動助成（ボランティア活動助成B）
活動名	ハイキングコースの作成・周辺地域の清掃（ドイツ・□□地方）
目的	今回の活動における目的として、次の二つを定めていた。 ①外国の文化を直接肌で感じたい ②ボランティア成果を目に見える形で残し、活動地域に役立てたい ①について、ドイツでの生活は、食事や一般常識等が日本と全く異なっており、実際に生活を体験できたことは大きな収穫だった。また、各国のボランティア参加者との共同生活の中で、それぞれの国や文化の特性が垣間見えることがあり、様々なモノの考え方を学んだ。今まで以上に一人一人の価値観の違いを考えて、発言や行動ができるようになったと考えている。 ②について、ハイキングコースの完成という目に見える成果と、地域住民からの感謝の言葉を得て、活動を通して地域の役に立てたという自信を掴んだ。
要旨	〇〇国際ワークキャンプの企画に参加し、ドイツの□□地方において、ハイキングコースを作成し、地域周辺（幼稚園施設と遊技場）の清掃を行った。 このワークキャンプ企画には世界7カ国から参加者が集まり、滞在期間中、各国の参加者と宿泊所で共同生活を送った。 活動結果を踏まえて、申請時の目的、要旨から変更があれば、反映させてください。
助成金申請額	50,000 円（詳細は、「4.収支報告書」参照）
日時	平成28年7月30日～平成28年8月13日（合計15日間、うち移動日3日間）
場所	ドイツ・□□地方
対象者	ハイキングコースを利用する観光客、地域住民など
参加者（本学学生）	県立 花子
安全対策関連	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティア活動保険に加入した。（保険種類：××損害保険） <input checked="" type="checkbox"/> （海外での活動対象）渡航前に安全対策ビデオ「なぜ君がねらわれるのか」を視聴した。 <input checked="" type="checkbox"/> （海外での活動対象）「海外安全虎の巻」を熟読し携行した。 <input type="checkbox"/> その他（ ）

